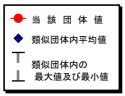


# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

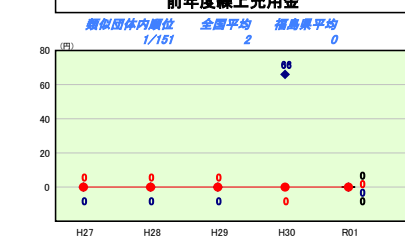
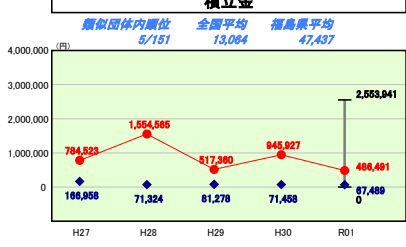
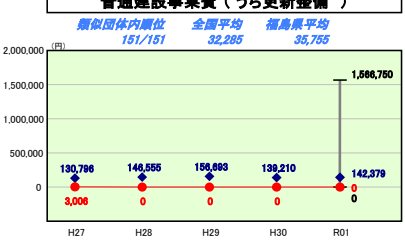
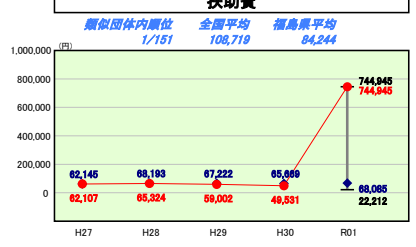
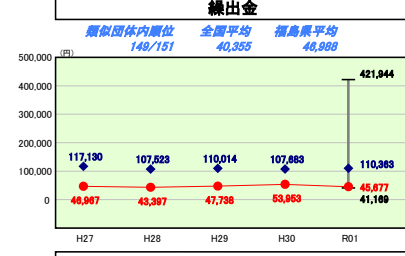
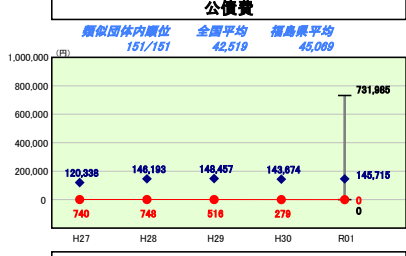
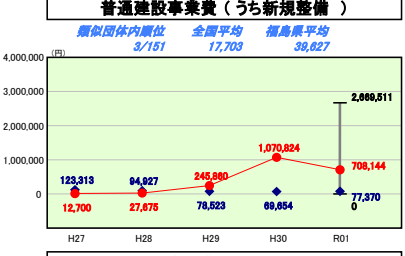
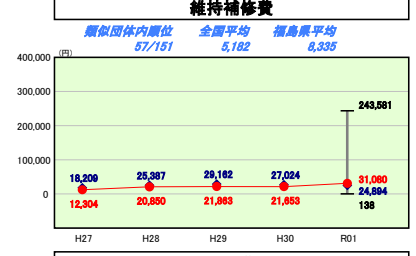
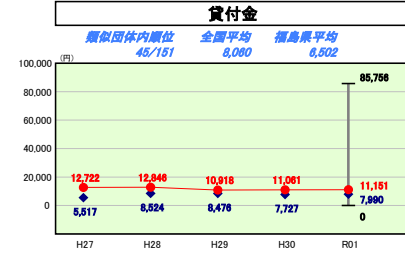
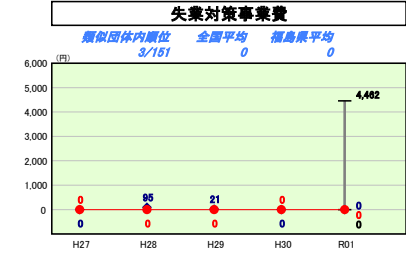
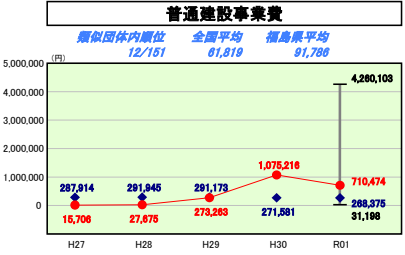
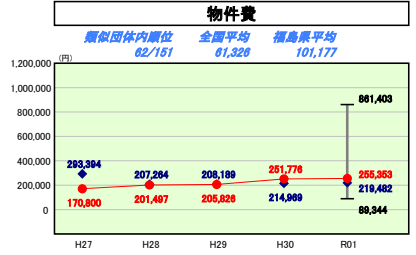
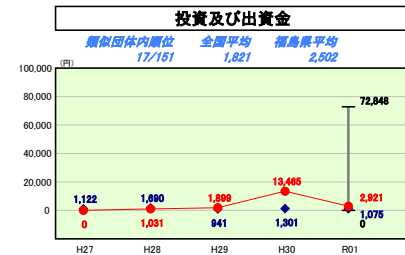
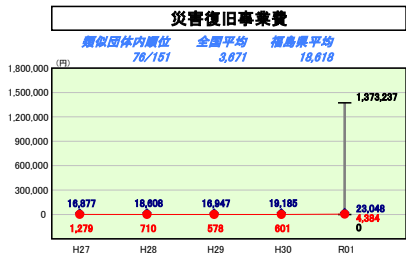
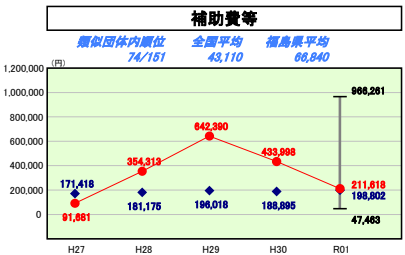
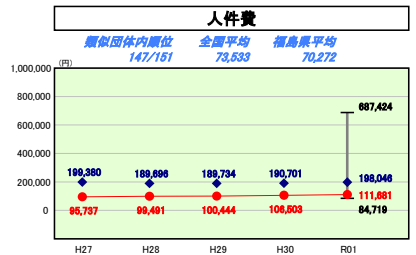
令和元年度

福島県大熊町

人口	10,313人(政.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	10,271人(政.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%	
面積	78.71km <sup>2</sup>	実質公債費比率	-2.4	%	
歳入総額	28,232,509千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	26,976,478千円	市町村類型	H27 I-2	H28 I-0	H29 I-0
実質収支	339,943千円	(年度毎)	H30 I-0	R01 I-0	
標準財政規模	5,219,886千円				
地方債現在高	0千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

前年度に比べ、扶助費が住民一人当たり744,945円となっており、類似団体と比較して、最も高い数値となっている。これは避難住民に対して生活再建促進交付金(7,172,200千円)を交付したことによる。また、普通建設事業費(新規整備)が住民一人当たり708,144円となっている。昨年度の1,070,824円と比較すると減少しているが、依然として復興拠点整備事業が多いことから、類似団体平均を上回っている。扶助費については令和元年度が一時的に高くなっただけであるが、普通建設事業費(新規整備)については、今後も復興拠点整備に関して多くの計画があることから、類似団体よりもコスト高になると考えられる。